



かつらぎ町 水道ビジョン

～緑豊かなフルーツの町 安全でおいしいかつらぎの水～



平成 22 年 3 月

和歌山県かつらぎ町 上下水道課

「緑豊かなフルーツの町 安全でおいしいかつらぎの水」を目指して

ごあいさつ

かつらぎ町はこのたび、21世紀中頃を展望しつつ、平成22年度(2010年度)から平成32年度(2020年度)までの11年間の水道事業の今後の目指すべき方向として、「かつらぎ町水道ビジョン」をお示しさせていただきます。

本町のまちづくりの将来像を「緑に囲まれた潤いと安らぎのふるさとづくり」と設定し、先人が築いた歴史や文化そして自然に恵まれた本町の資源をうまく生かしながら、その良さを守りつつ継続的な発展を図っていくための施策を展開しています。具体的には、住民の皆さんの安全・安心の確保、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり、農業などの地場産業と観光の連携による産業振興などをメインテーマに掲げ職員一丸となって取り組んでいるところです。

これらの理念を実現するため、水道事業では、安全で良質な水の安定供給に向けて、未給水区域の解消、施設の適正な維持管理を行うなど上水道や簡易水道の整備・改修を進めることなどをまちづくりの基本施策の一つとしています。

水道ビジョンでは、これらの基本理念や施策を、より具体的で地域性をもって、表わす言葉として「緑豊かなフルーツの町 安全でおいしいかつらぎの水」を掲げその実現に取り組んでまいります。現在、本町の水道は、給水収益の減少する傾向にあって、整備拡張の時代を終え、施設や管路の更新が必要な維持管理の時代を迎えています。

世界経済の不安定、人口問題など、水道事業を取り巻く環境も大変厳しく、内外の変革に適切に対応しつつ、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、効率的な運営により健全な財政基盤を確保していくためには、経営全般にわたる長期的な将来構想が必要であります。

「かつらぎ町水道ビジョン」は、平成16年(2004年)に策定された国の水道ビジョンが示す目指すべき方向に基づいて、本町の主要政策課題についての取り組みや将来の水道事業のあるべき姿を描くものですが、今後とも安全で良質な水道水を安定的に供給していくための礎にしたいと考えておりますので、住民のみなさまのご協力をよろしく願います。

平成22年(2010年)3月
かつらぎ町長



山本 恵章

やまもと しげあき

目次

1. 策定の趣旨	1
1.1 策定の目的	2
1.2 「かつらぎ町水道ビジョン」の位置づけ	3
1.3 目標年次と施策	4
2. かつらぎ町と水道事業の概要	5
2.1 かつらぎ町の概要	6
2.2 水道事業の概要	14
3. 水道事業を取り巻く社会の潮流	22
3.1 人口減少と少子高齢化の見通し	23
3.2 水需要の変化	25
3.3 水質基準の強化	26
3.4 法改正等による規制緩和、事業の広域化・統合化の動き	28
3.5 地球環境問題	29
4. 現状把握・分析と課題の抽出	30
4.1 水道事業の現況概要	31
4.2 水道事業の対象区域及び水道施設の位置図(現況)	33
4.3 給水の状況	35
4.4 施設の状況	40
4.5 経営の状況	80
4.6 第三者委託導入に向けての検討	104
4.7 環境・エネルギー対策	110
4.8 国際貢献とその課題	112
5. 将来予測	113
5.1 水需要予測	114

6. 今後の目指すべき方向	123
6.1 基本理念	124
6.2 水道のあるべき姿	125
6.3 基本方針	127
6.4 基本施策の考え方(PDCA サイクル)	128
6.5 基本方針に対応する整備計画	129
6.6 整備事業の年次計画	131
6.7 各事業区分による主な具体的実施計画	132
7. 推進体制の構築	160
7.1 推進体制の構築	161
8. 添付資料	162
8.1 水道施設の仕様	163
9. 参考資料	177
9.1 参考文献	178
9.2 用語集	179